PRESS RELEASE

2018 年 11 月 30 日 株式会社 ispace

ispace、10 年間で総額 26 億ドルの NASA CLPS プログラムに採択 ドレイパー研究所等とともに、NASA に月面への輸送サービスを提供

株式会社 ispace(本社:東京都港区、代表:袴田武史、以下 ispace)は、アメリカのチャールズ・スターク・ドレイパー研究所(本社:アメリカ・マサチューセッツ州、以下ドレイパー研究所)らとともに、アメリカ航空宇宙局(the National Aeronautics and Space Administration、以下 NASA)へ 10 年間で予算総額 26 億ドルの月面への輸送サービス(Commercial Lunar Payload Services,以下 CLPS(クリプス))の提案を行い、この度 NASA にその提案が採択されました。2018 年 11 月 29 日(木)(現地時間)に、NASA が米・ワシントンにある本部で発表し、ispace が参加するドレイパー研究所のチームを含む複数チームが採択されました。

日本のスタートアップを含む合同チームが NASA の CLPS 契約に採択されたことは、これまで国主導だった月探査が国際協力をベースとした民間主導のミッションに切り替わる重要な分岐点になり、また世界の宇宙開発を先導する NASA が大きく舵を切ることで日本をはじめ各国にも大きな影響を与えると考えています。

NASA CLPS への提案ではドレイパー研究所が契約主体となり、日本の ispace 社、アメリカのジェネラル・アトミックス社、そしてアメリカのスペースフライト・インダストリーズ社の 3 社が加わり、合計 4 社による提案を行いました。

ドレイパー研究所は契約主体として、ペイロード運用と月着陸船の GN&C システム開発、そして全体管理を行います。ispace 社は、月着陸船の設計とミッション管理、運用に加えて、高頻度のペイロード輸送サービスを担います。ispace 社が設計した月着陸船に対して、ジェネラル・アトミックス社は製造と組立、試験を担当します。スペースフライト・インダストリーズ社は、搭載作業を含むロケット打ち上げサービスを担います。

ispace はこの NASA CLPS プログラムへの貢献を通じて、人類の生活圏を宇宙に広げるべく、一層 積極的にグローバル・ミッションへの取り組みを加速していきます。今後の ispace の取り組み に是非ご期待下さい。

■ 株式会社 ispace Founder & CEO 袴田武史のコメント

私たちは、月を人間の活動を宇宙に広げるための重要な鍵と考える NASA を支持しており、CLPS に参加することも「人類の生活圏を宇宙に広げる」というビジョンを実現する大きな一歩だと考えています。ドレイパー研究所をはじめチームのメンバーとともに、この NASA のプログラムに貢献していきます。

■本件に関するお問合せ先

株式会社 ispace 担当:秋元 (日本語)・Aaron Sorenson (English)

〒105-0014 東京都港区芝 2-7-17 住友芝公園ビル 10F

TEL: 03-6277-6451 MAIL: pr@ispace-inc.com

i s p a c e

PRESS RELEASE

■ NASA CLPS プログラム

CLPS は、ペイロード(荷物)を月へ輸送する商業サービスを、民間企業などから公募する NASA のプログ ラムで、2017年12月に発表されました。発表時には、NASAの方針に基づく探査プログラムの一環として、 民間および国際的なパートナーを募り、月そして太陽系のさらに遠い天体を目指していくことが宣言され ています。

■ 株式会社 ispace http://ispace-inc.com/jpn

「Expand our planet. Expand our future. ~人類の生活圏を宇宙に広げ、持続性のある世界へ~」をビジョンに掲 げ、月面資源開発に取り組んでいる宇宙スタートアップ企業。シリーズ A 国内過去最高額となる 103.5 億 円の資金調達を実施し、日本初民間開発の月着陸船による「月周回」と「月面着陸」の 2 つのミッション を発表。JAXA、ルクセンブルク政府とも月資源開発で連携。日本、ルクセンブルク、アメリカの 3 拠点で 活動。

■ HAKUTO-R http://ispace-inc.com/hakuto-r

HAKUTO-R は、ispace が 2021 年までに行う史上初の民間月面探査プログラムです。独自のランダーとロー バーを開発して、2020年に月周回と 2021年に月面探査の 2回のミッションを行います。SpaceX の Falcon 9 を使用し、それぞれ 2020 年半ばに月周回ミッション、そして 2021 年半ばに月面探査ミッションの打ち上 げを行う予定です。

株式会社 ispace 担当:秋元 (日本語)・Aaron Sorenson (English)

〒105-0014 東京都港区芝 2-7-17 住友芝公園ビル 10F

TEL: 03-6277-6451 MAIL: pr@ispace-inc.com